【東京都】東京都立深川高等学校

3 すべての人に健康と福祉を　10 人や国の不平等をなくそう　11 住み続けられるまちづくりを

～深川UDプロジェクト～
～高校生ボランティアアワード2025

「ひととまちをつなぐユニバーサルデザイン ～高校生が描く共生社会～」

江東区、**深高生**と**区民**が協働しユニバーサルデザイン(UD)の**「人権・尊厳」「障害の社会モデル」「合理的配慮」**について理解を深めるワークショップを展開。2023年度はUDの理解と普及、2024年度は講座と啓発動画制作、2025年以降は地下鉄延伸に伴う整備への提言活動へ。事業者・高校生・区民がUDの視点でまちづくりを考え実践する持続的な取組を目指しています。

江東区×深高生

ユニバーサルデザインまちづくりの取り組み

[活動の背景]

深川高校がある江東区では、誰もが暮らしやすいまちを目指して、**区民・事業者・行政**が協働でユニバーサルデザイン(UD)をテーマにしたワークショップを行ってきました。平成15年から続くこの活動は、地域のさまざまな立場の人が参加し、対話を通じて共に考えることを大切にしています。私たちは令和5年より参加し、”UDを伝える”ことをテーマに据えて理解を深めました。

[令和5年度]

高校生に向けた「UD出前授業」を実施。
区民のみなさん、当事者の皆さんと連携し、**UDの考え方を伝える授業づくり**に挑戦。深川高校の総合的探究の時間において授業の実践。授業後はマニュアル化に向けたまとめWSに参加しました。

[令和6年度]

「**目的は同じ、やり方が違う**」というUDの基本を伝える動画を制作。ワークショップ参加者が高校生に講座を実施し、その内容をより多くの人に伝えるツールとして、小学生から大人までがわかる構成の動画を作成しました。 ＊**動画への出演やナレーションにも挑戦！**

[令和7年度（今年度）]

約20年ぶりの**「江東区交通バリアフリー基本構想」**を**「江東区バリアフリー基本構想」**への改定に向け、高校生・区民・江東区やさしいまちづくり相談員とともに東陽町駅・南砂町駅周辺のまちあるき・点検・意見交換を実施予定です。
みんなの声が、まちづくり計画に反映されます！

若い世代の力で、まちが変わる

「どんな人にとっても暮らしやすいまち」とは？
自分たちの目で見て、考え、伝える。
そんな活動を、これからも続けていきます。

KOTO City in TOKYO スポーツと人情が熱いまち 江東区 × × × DUM SPIRO SPERO

＊江東区、ワークショップ、事業者、高校生の協働のイメージ

工夫したポイント！

❶ 相手の立場で考える

「**自分にとって当たり前**」が、**他の人にとっては難しい**こともあると気づきました。たとえば、歩くことが難しい人や音が聞こえにくい人にとって、「当たり前のやり方」がそうではないことに気づきました。その**違いを知る**ことから伝える工夫が始まりました。

❷ 誰でもわかりやすく

子どもから大人まで楽しく学べるよう、**クイズ形式の動画(R6)**に挑戦。「どう伝えたら伝わるか」を、みんなで何度も話し合いました。難しい言葉を避けて、クイズ形式にしたり、動画を活用したり、小学生にもわかるように工夫しました。**伝える側として、UDを自分のこととして考えました。**

❸ 話を聞くことの大切さ

「よかれと思ってやったことが、実は困らせていたかもしれない」
そうならないよう、まずは「**相手にやってほしいことを聞く**」ことを大切にしました。

❹UDトーク®を活用

音声を文字にするアプリを使って、誰もが参加しやすいワークショップになるよう配慮しました。

UDトーク®は、音声をテキストに変換してコミュニケーションの壁を取り除くことができるアプリです。聴覚障害者の人々もWSに参加できるように文章構成を行なっています。UDトーク®を使用してWSの進行や重要な情報を共有！アプリを介してリアルタイムのテキストコミュニケーションを行い、すべての人がオンタイムで内容理解できます！

[キーワード] → 令和5年 → 令和6年 → 令和7・8年 → 未来へ

“高校生から未来へ”

活動のキーワードはこれ！

プログラムの作成・実践

僕たちが出演している動画のリンクです。

ツールの作成(動画)・実践

地下鉄8号線の延伸に伴う新駅周辺や再開発に伴う新たな江東区バリアフリー基本構想へ！

ユニバーサルデザインまちづくりワークショップ

↓ 意見・要望等 ↓

地域公共交通推進協議会 ↔ 庁内検討会

実際のまちづくりに活かされるかも！

[今後の展望]

① **「伝える立場」から「提案・共創する立場」へ！**→「UDの学び・発信」から「地域の困りごとを発見、解決を提案」へ！
② **他世代と“協働”の広がりへ！**→高齢者・障害者・子どもと関わりながら、「どんな配慮が役立つか」を学ぶ交流へ発展。
③ **「学校から地域へ」活動を発信！** → 自分たちの学びを様々な場所で発表したい。
④ **国際的な視点の導入**→ ボランティア部の特徴を活かし、「UD × 国際協力」「多文化共生とUD」など新たなテーマに挑戦。
⑤ **「UD×デジタル」時代に合った発信力を活かす**→SNSを活用して、もっと身近に・楽しく伝える取組へ。

[主催 ・協力]

江東区都市整備部 都市計画課 都市計画担当(ユニバーサルデザイン)・場所づくり研究所プレイス
アドバイザー 川内美彦(アクセシビリティ研究所主宰・東洋大学人間科学総合研究所客員研究員)
📲 詳しくはこちら！江東区 UDまちづくり特設ページ
https://www.city.koto.lg.jp/390115/udtoolr6.html 引用： 江東区令和7年度当初予算案～主な事業の紹介～
https://www.city.koto.lg.jp/011502/kuse/koho/yosanan/documents/2025press.pdf
＊このポスターは、多くの人が読みやすいようにUDのフォント(BIZ UDゴシック)を使用しました。

私たちは、青少年赤十字社に加盟し、地域や国際的な問題に対して活動、啓発活動を行なっています。例えば、フェアトレードの啓発、海岸・河川・地域清掃、商店街の活性化、その他様々な地域のボランティア等です。これらの活動を通して同世代の方に関心を高めてもらいたいです。